

# リスクアセスメント報告書 (事例2)

No. \_\_\_\_\_

対象作業名 : 集材作業

実施者氏名 : \_\_\_\_\_

報告書作成日 : \_\_\_\_\_

No.	危険要因の洗い出し				リスク見積り(現状)		リスク評価(現状)	リスク低減対策	対策後のリスク見積り(予測)		改善に当たり考慮すべき事項	優先順位		
	作業名	危険要因の内容	災害に至るプロセス		可能性	重大性			可能性	重大性			リスクレベル	
			～するとき	～したので										～(事故の型)になる
1	スイングヤード集材作業	過大な張力	材を引き上げるとき	過大な張力がかかり	転倒、転落する	×	×	5	①リリーフ弁により張力が出ないようにする	○	○	1	②、③を併用し、残留リスクを小さくする	2
									②転倒防止装置(ブレード)を装着する	○	×	3		1
									③安全作業(教育)を徹底する	○	△	2		3
									④傾斜計をつけ、一定角以上は引き込まないようにする	○	○	1		3
2	クワヤーダ集材作業	ワイヤロープ	内角作業をしていて	台付け索が切れたため	ワイヤロープに激突される	○	×	3	①架線集材から車両集材に変更する	○	○	1	②内角側に立木を残す	1
									②内角側に立木を残す	○	△	2		3
									③内角作業は絶対にしない	○	○	1		2
3	車両集材作業	集材木	木寄せ集材するとき	木寄せ距離が長い材が引っかかりやすく	集材木に激突される	△	△	3	①高密度集材路を入れ、木寄せ距離を短くする	○	○	1	確実に回避する	1
									②内角側に立木を残す	○	△	2		3
4	車両集材作業	林内作業車	林内作業車を運転したとき	運転席から降りてバックで走行中	立木と作業車の間に身体を挟まれた	△	×	4	①リモコン操縦の車両に改良する	○	○	1	②運転席から降りて運転しない	2
									②運転席から降りて運転しない	○	△	2		1
5	プロセッサ造材作業	造材木	枝払いしたとき	他の作業者が近くで材の整理をしていたので	材に激突された	△	×	4	①接近ブザーを開発、携帯させる	○	○	1	②材整理の作業者を配置しない	2
									②材整理の作業者を配置しない	○	△	2		1

## リスクの評価基準

### 災害の可能性

可能性ランク	記号
かなり起こる	×
たまに起こる	△
ほとんど起こらない	○

### 災害の重大性

重大性ランク	記号
極めて重大	×
重大	△
軽微	○

### リスクレベル

リスクの見積り	リスクレベル
XX	5
×△、△×	4
○×、×○、△△	3
○△、△○	2
○○	1

### リスクへの対応

リスクレベル	リスクへの対応
5	受け入れ不可能なリスクであり、即座に他の方法へ回避する必要がある
4	受け入れ不可能なリスクであり、抜本的な対策を実施する必要がある
3	受け入れ不可能なリスクであり、何らかの対策を実施する必要がある
2	許容可能なリスクであり、現時点では特に対策の必要がない(残留リスクあり)
1	受け入れ可能なリスクであり、対策の必要がない(残留リスクあり)